

申し入れ書

奈良公園内におけるリゾートホテル建設計画に反対します。

奈良県知事 荒井正吾殿

表題事業計画予定地は「国指定の名勝」であり、「文化財保護法」や「古都保存法」に基づいて「歴史的風土特別保存地区」に指定され、「奈良市風致地区条例」によって「第一種風致地区」にも指定され、本来一切の商業施設の営業は認められていない地域でもあります。さらに、この地は奈良公園が「ユネスコ世界自然遺産」の認定をうけるにあたって、住民の居住地区とのバッファゾーンとして位置づけられており、世界遺産登録に関する違約行為の疑念があります。

インバウンドツーリズムの促進や東京オリンピックを控えて、奈良にホテルが必要だとの時流は理解できても、それがこの地である必要はありません。

自然環境を観光資源として活用する事業が、ムササビや野鳥の生息するこの自然環境を壊してまでもホテルを建設するのは本末転倒です。

知事は県議会で、「反対する住民は一部であり少数だ」と発言されました。

反対の民意が決して少数でないことを示すために、「奈良公園におけるリゾートホテル建設反対署名」の活動を昨年末から開始しました。

昨年12月26日に県が告知された本事業に対する「プロポーザルの公募」を受けて開始した署名活動ゆえに、期間はわずか3週間程度ではありますが、すでにオンライン署名5,100人を超え、2,200人を超える自筆署名が寄せられております。本日、それらの署名と民意の声をお示し申し上げます。この後も、この署名活動を更に拡大して、「反対の決意」をお示しする所存です。

奈良公園は、日本国の宝であり、世界遺産の登録を受けた世界の自然財産です。子々孫々に悔いを残さないため、荒井知事におかれましては、本計画の速やかな中止を切にお願い申し上げます。

要望事項

奈良市高畑町の県有地（裁判官官舎跡地）における「リゾートホテル建設計画」の速やかな中止を求めます。

平成29年1月12日

奈良公園の環境を守る会・高畑町住民有志の会

代表 辰野 勇

〒630-8301 奈良県高畑町1201-1

Eメール narapark.mamoru@gmail.com

